

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんくる我如古			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動やダンスを通してコミュニケーション力の向上がはかれる。	集団指導では難しい事も、小集団だから手厚くサポートできるよう配慮し、誰でも楽しく通えるように意識して取り組んでいる。	高学年や低学年が一緒に楽しめるような活動内容を考え、支援に取り入れていきたい。
2	パソコンやSSTなどのカリキュラムによる社会性の向上がはかれる。	視覚優位の子や、聴覚優位の子に合わせて、イラストを用いたり、小学生にもわかるようにかみ砕いて説明をしたりするように心がけている。	小学生が多い事業所とはなるが、少しずつ社会人としてのスキルを養うための必要性を伝えていけるよう取り組んでいる
3	お出かけで興味や関心を養う。	地域のイベントや、工場見学、美術館等に足を運び、様々な事柄に興味や関心を持ってもらうよう取り組んでいる。	工場見学などに行った際には、何を学べたか子ども達に話を聞き、子どもが意見を言う場の提供や、より物事に関心を持てるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定のカリキュラム利用の希望者が偏ってしまう。	取り入れている様々なカリキュラムの魅力を子ども達にもわかってもらえるよう、どのようにしていくかが課題。	カリキュラムの名前だけではイメージがつかない場面も多いと感じるので、イラストや実際に体験授業のような物を行い、イメージがつかやすいようにしていきたい。
2	特定の地域のみの利用受け入れとなっている。	送迎時間の兼ね合いから、同じ市内でも受け入れができていない状況がある。	送迎時間の調整や、保護者様からご協力頂いて、送迎範囲外も受け入れ可能にできないか工夫していきたい。
3	事業所が2階にあるため車椅子の子などの利用が難しい。	事業所に入るために階段がある。	エレベーター設置は難しいが、別案で車椅子の子も受け入れられるような体制は整えられないか検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りんくる我如古

公表日 令和7年 5月 7日

利用児童数 17

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・スペースは十分である	・活動部屋、学習部屋と用途によって使い分けており、十分なスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13				・先生の紹介などがあればもっと良いと思います。(新しく入ってこられた方の名前と顔が分からないので) ・多いと思える程配置されている、とても安心できる	・先生の顔と名前が知りたいとの事でしたので、検討していきたい。 ・指定基準を満たし職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1				・賃貸物件により、大きな工事が難しいところです。現在対象となる児童の利用はございません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				・とても清潔で子ども達の過ごしやすい空間になっている。	・これからも清潔感を保ちながら、子ども達の日常に合わせた空間を心掛けていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				・細かな部分まで計画作成なされている。	・今後も、お子様、保護者様の思いに寄り添いながら、一緒に計画を立てていきたいと思っております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			・とても工夫されていると感じる	・子ども達が楽しんで活動に取り組めるよう、日々工夫をしながら、プログラムを作っております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3		1	・良く分からない	・児童館での交流は長期の休みを利用して行なっております。保護者様へ認識して頂けるように事前に伝えていきたいと思っています。
保護 者へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・いつも説明が丁寧である。	・見学や契約時に、ご説明させていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				・十分な説明がなされている。	・児童発達支援管理責任者よりその都度説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3		1		・事業所主催のペアトレーニング等は行っていないが、ご家族様が参加出来る研修等があれば不定期ではございますが、ご案内させて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				・日頃から口頭やメール等で子供の状況を知らせて貰っている。	・今後も子どもや保護者様との意思疎通情報伝達のための配慮を心がけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				・保護者会、電話、実際にご来所頂いての面談等を活用して頂きたいと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				・いつも助けられていると感じる。	・これからも変わらず共感出来るように支援していきたいと思っています。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13				・回数を増やして欲しい。	・保護者会の開催は不定期ですが、保護者様同士での連携が出来るようにしていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1			・いつも迅速かつ適切である。	・児童発達支援管理責任者を中心に苦情に対して即時対応するよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2				・契約時、モニタリング等で保護者様向け説明を行なっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1				・契約時、モニタリング等で保護者様向け説明を行なっており、年に2回避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				・ケガ時などはいつも連絡が速いと感じる。対応も安心出来る。	・事業所を利用してケガ等があった際には、状況説明を迅速に行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			・とても楽しみにしている ・満足である ・行けば楽しんでいる。	・通所を楽しみにしていただけるよう、今後も専門性、知識を身に付け、職員一同より良い環境作りを目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・満足、子どもを任せて安心と感じる	・今後も支援にご満足頂けるよう、様々な支援を考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
りんくる我如古		令和7年 5月 7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動部屋、学習部屋、があり用途によって使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8			・基本有資格者であり、基準以上の人員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	・事業所が2階にある為、バリアフリー化が難しいところがある。	・賃貸ともあり改装も難しい状況。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・多忙な時期でも、振り返りを行えるスケジュールングを検討する。	・長期の休み等の際や、朝から利用児童がいる場合は振り返りが行えない場合があるが、多忙な中でも、取り急ぎ周知しないといけない物に関してはLINE等を活用し周知している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・昨年の津波警報があった際に細やかな迅速な対応が必要だと感じ、連絡手段、内容について検討した。	・津波警報の際には、公式LINEを活用し保護者様へ避難状況を周知出来るように行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・必要に応じて行っていく	・必要な際には検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・新人研修には参加出来たが、その他の研修はタイミングが合わず。研修の時間を作っていきたい。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・毎年、自己評価の結果をホームページに公開している。	・ホームページ内の事業所案内ページに掲載している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・支援が偏らないように職員全員で課題を検討している。	・児童本人の課題を見直し、保護者様のニーズも取り入れながら課題を検討している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・個々の状況が違うので必要なアセスメント内容で個別に対応している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・活動ごとのチームがあり、ミーティングで話し合い決定している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・定期的なアセスメントをもとに長期目標を設定し、優先順位をつけて個別支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・打ち合わせの時間が少ししかとれないこともあったので、今年は時間を確保したい。	・毎日ミーティングの時間は設けているが、十分な役割分担についての時間の確保を行ない、より良い支援が出来るように検討する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・取り急ぎの共有しないといけないことはLINEで共有している。振り返り等は翌日のミーティングを設け行っている。 ・翌日のミーティングで話し合っているが、長期の休みなどの時はすぐに出来ていない時もある。	・支援終了後は取り急ぎ共有することを周知し、翌日のミーティングにて振り返りや気付いた点を共有している。 ・長期の休みの際のミーティングの時間の確保を検討していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・個別会議を行い、内容を計画書に盛り込んでいる。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			・児童発達支援管理責任者が会議に出席しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・現在、該当する児童がいない。	・現在対象の児童はいないが、対象児童がいれば連絡体制は整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・スクリーンなど情報を頂いてはいるが、先生一人ひとりと密なやり取りを行う手段について検討したい。	・下校時間の確認は学校へ連絡し確認をしている。各学校の情報ツールを活用し、トラブル発生時には送迎時に行っているが、必要があれば学校、ご家族様含めた会議を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・計画相談員さんを介して、情報共有している。	・契約前の担当者会議で引継ぎをしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			・事例がないが、今後対象児童がいれば、対応していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			・積極的に研修会に参加し、助言をもらう機会を増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		・長期のお休みを利用し、地域の児童館を利用し交流している。	・長期のお休みの際に児童館の利用をしており、地域の公園等でも関わられる機会を設けたい。 ・他事業所との交流を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	・児童発達支援管理責任者が協議に参加してくれています。	・市町村の連絡会に積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・LINEやりんくるノートを活用し、保護者様と共有している。必要に応じて送迎時や電話で直接伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者様向けの研修がある場合には案内している。	・今後も研修案内を積極的に行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に運営規程、重要事項説明書により支援内容や利用者負担額について、児童発達支援管理責任者より説明しています。	・児童発達支援管理責任者より、説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・子育ての悩み等がある保護者様に対して、お電話や事業所に来て貰い悩みを聞いている。	・児童発達支援管理責任者より、相談出来る
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者会を開催し、保護者様同士相談したり出来る場を作っている。	・年に1.2回保護者会開催しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・毎月予定表を配布しており、連絡事項は電話等にて行なっている。	・活動の様子等はホームページのブログに載せています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報保護法に基づき、取り扱いには十分注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・定期的に行っている。	・契約時、モニタリングの際に保護者様向け説明を行なっている。避難訓練を半年に1回訓練を行なっている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		・医師からの指示書に基づく対応が出来るように職員に周知している。訓練用の器具を使用し職員間で訓練しているが、訓練頻度を増やしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・他事業所含め、職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	・ヒヤリハットを作成し、その都度、職員間で回覧、サインを頂いている。理解して貰えるように周知の方法を検討する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・身体拘束に該当する児童はいないが、いる場合にはしっかりと記載し、説明と同意を得ていく。	・事例はないが、今後対象児童がいれば、対応していきたい。